

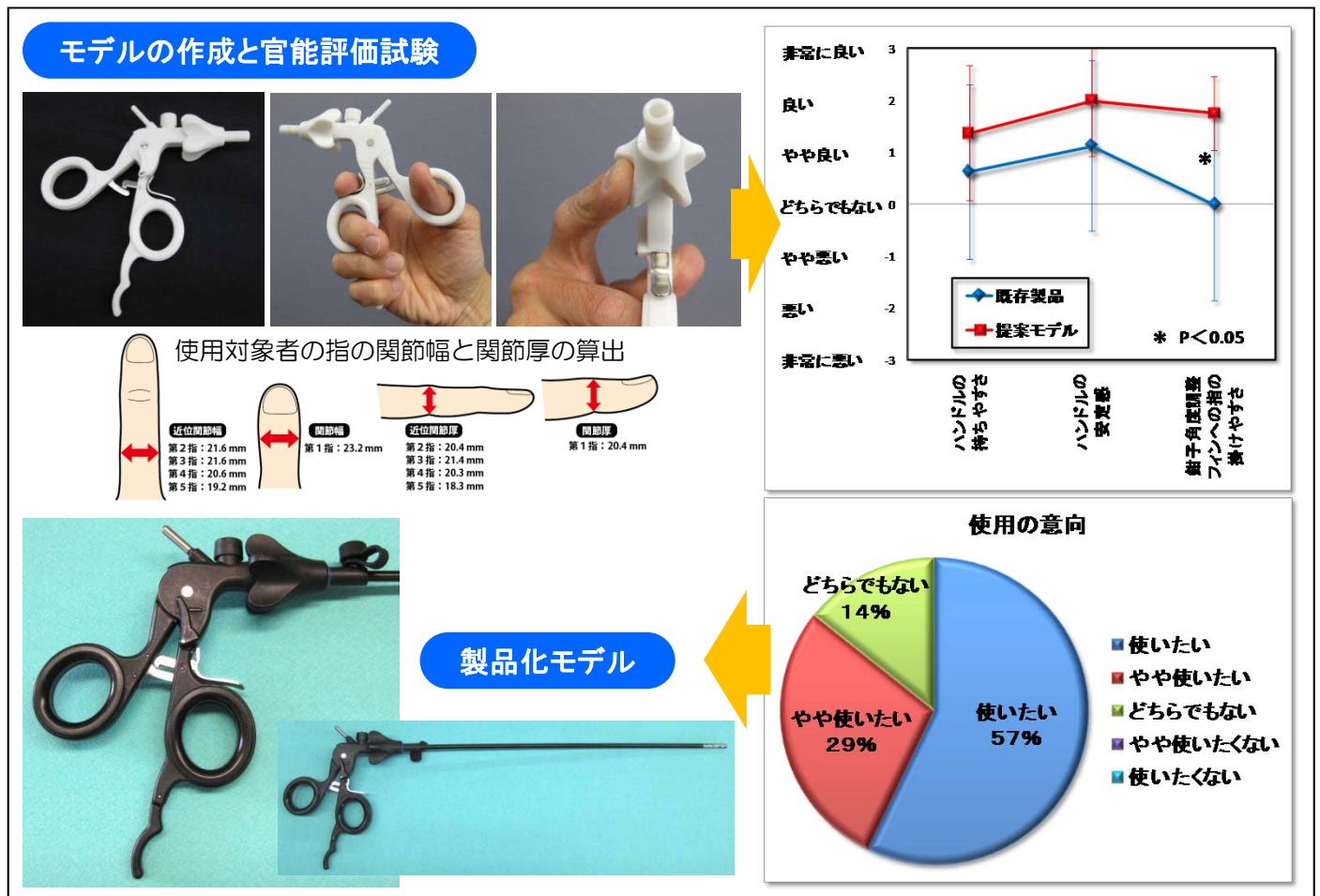
内視鏡手術用鉗子ハンドルの開発

■支援の概要

内視鏡手術用鉗子のハンドルは多くが外国製であることから、必ずしも日本人にとって使いやすいものばかりではありません。そこで、日本人の人体計測データを利用した使い心地がよく操作しやすい寸法や形状の検討と、モデルによる官能評価を行い、より使いやすいデザイン設計を支援しました。

■支援の項目

- ①日本人の人体計測データを利用した、ハンドルの寸法や形状の設計支援
- ②使いやすく簡単な機構の、ラチェットのオン・オフ機能の設計支援
- ③モデルの作成と、使いやすさの官能評価試験



■支援の成果

- ①官能評価試験の結果、使いやすさと使用の意向について、良好な結果が得られました。
- ②平成23年4月に商品化されました。